

別添

長期高度人材育成コース

審査票(令和 年 月開講)

訓練の種類: _____

委員氏名 _____

評価項目	評価基準	提案番号		
		実施施設		
		コース名		
		配点	採点	点数
1	企画提案内容	40		
①	業務内容の理解 ・ 事業の趣旨を十分に理解した企画提案になっているか。 ・ 離職・転職者及び企業ニーズを把握し、それを踏まえた提案内容となっているのか。 ・ 仕上がり像が明確であるか。	10		
②	訓練内容の独自性、企画力 ・ 実現性のある訓練が実施できるのか。(企業実習を実施する場合は、実習先が確保されているか。) ・ 時代のニーズに対応し、カリキュラムに創意工夫がなされているか。 ・ カリキュラムは仕上がり像と整合性を有しているか。 ・ デジタルリテラシーに関する内容がカリキュラムに組み込まれているか。	10		
③	就職支援内容の独自性、企画力 ・ 必要な就職支援業務を実施しているか。 ・ 訓練受講中の訓練生に対する支援が、効果的な内容であるか。 ・ 未就職の訓練修了生に対する支援が、効果的な内容であるか。 ・ 効果的な独自提案があるか。	10		
④	定着支援内容の独自性、企画力 ・ 必要な定着支援業務を実施しているか。 ・ 定着支援対象者に対して効果的なフォローアップができるか。	10		
2	業務遂行能力	35		
⑤	業務実施体制 ・ 業務を円滑に実施するための体制(人数・役割)は妥当であり、業務遂行に無理はないか。 ・ 事務責任者や専任の事務担当が配置されているか。 ・ 再委託がある場合、再委託先や再委託する業務内容は適正か。 ・ オンラインで訓練を実施できるか。 ・ 「公的職業訓練に関する職業訓練サービスガイドライン適合事業所」の認定を受けているか。	10		
⑥	訓練運営体制 ・ カリキュラムに対応した講師の確保する見込みはあるのか。 ・ 必要な講師数を確保する見込みはあるか。	5		
⑦	就職支援体制 ・ 就職支援責任者として配置する人材は適切か。 ・ キャリアコンサルタント等の就職支援を担当する者の人数・役割は妥当であるか。	5		
⑧	定着支援体制 ・ 定着支援を担当する者の人数・役割は妥当であるか。	5		
⑨	施設・設備の確保 ・ 訓練に必要な施設・設備は確保されているか。	5		
⑩	業務を円滑に実施することができるのか。 ・ 業務を円滑に実施するための経験・実績等があるか。	5		
3	事業の効果	20		
⑪	事業の効果 ・ 目標が設定されているか。 ・ 目標達成に向けた取り組みや工夫があり目標の達成が期待できるか。 ・ 安定した雇用に結びつく成果が期待できるか。 ・ 就職実績は十分なものか。 ・ 職業訓練サービスの質の向上に取り組んでいるか	20		
4	経費の妥当性	5		
⑫	経費の積算 ・ 訓練実施経費の積算根拠は明確で、合理的な内容であるか。 ・ 訓練生の経費負担は必要最低限なものが計上されているか。	5		
合計		100		

採点は、項目ごとに5段階評価とし、極めて良いを「5」、良いを「4」、普通程度を「3」、良くないを「2」、極めて良くないを「1」とする。

※採点において「1」(極めて良くない)をつけた場合は、その理由を記載してください。

--